



Maker Faire Tokyo 2014

日程：2014/11/23-24

於：東京国際展示場 西3ホール+屋上展示場

スポンサー募集要項

株式会社オライリー・ジャパン

はじめに

Make:

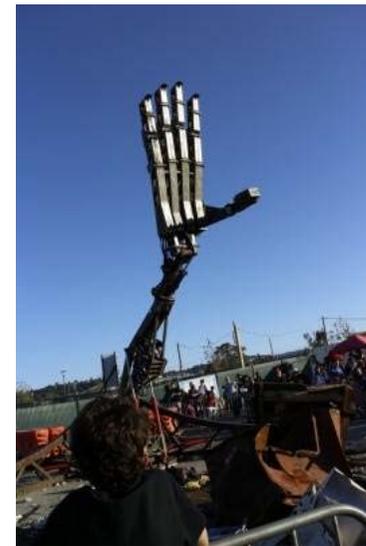
2013年、2014年は、Makerムーブメントに関わる人々にとって記念すべき年となりました。
2013年には、Maker FaireとMini Maker Faireの開催地が全世界100か所を越え、
2014年6月には、米国ホワイトハウスにて初のWhite House Maker Faireが開催されました。
小さなガレージから生まれたMakerムーブメントの波は、
世界中からの大きな期待を背景に、とどまる勢いを知りません。
日本国内でも、2013年は山口市様のご協力の下、国内初のMini Maker Faireとなる
「Yamaguchi Mini Maker Faire」が開催され、西日本の多くの出展者様たちが集まり盛況裏に幕を閉じました。
国内2回目の開催となった「Maker Faire Tokyo 2013」も、250組の出展者様ならびに
9,200名の来場者様をお迎えし、大盛況のうちに幕を閉じることができました。
これも皆様方からの支援のお蔭と、厚く御礼申し上げます。
この度、私どもオライリー・ジャパンでは、このような皆様方からの多大なご期待に応えるため、
さらに会場を移転、拡大して、Maker Faire Tokyo 2014を開催することと致しました。
皆様方におかれましても、是非本イベントへのご協賛を通じ、
Makerムーブメントや、Makerの皆様に対してご支援を賜れば幸甚にございます。

2014年8月吉日 株式会社オライリー・ジャパン

Makerムーブメントとは

Make:

- 「Make」は、アメリカ発のテクノロジー系DIY工作専門雑誌として2005年に誕生しました。
- 自宅の庭や地下室やガレージで、びっくりするようなものを作っている才能あふれる人たちのコミュニティが、どんどん大きくなっています。
- 「Make」は、そうしたコミュニティ同士を結びつけ、刺激と情報と娯楽を与えることを目的としています。
- 「Make」は、すべての人が思いのままに、あらゆるテクノロジーを遊び、いじくり、改造する権利を称賛します。
- 「Make」の読者は、自分自身、環境、教育—私たちの世界全体をよりよいものにするための文化、コミュニティとして成長を続けています。
- それは、雑誌の読者という枠を超え、全世界的なムーブメントになりました。私たちはそれを「Makerムーブメント」と呼んでいます。



イベント概要

Make:

- 名称 : Maker Faire Tokyo 2014 (略称:MFT2014)
- 日時 : 2014年11月23日(日)、24日(月・祝)
11月23日(日) 12:00~19:00 / 11月24日(月) 10:00~18:00 (予定)
搬入日・・・11月22日(土)(時間未定)
出展者懇親会・・・11月23日(日)夜
- 会場 : 東京国際展示場 西3ホール / 屋上展示場
- 入場料(予定) : 前売: 大人1,000円 / 18歳以下500円
当日: 大人1,500円 / 18歳以下700円
(小学校未就学者は無料、期間中1日限り有効)
- 予定出展者数 : 350組
- 想定動員数 : 1万2,000人/2日間
- 主催 : 株式会社オライリー・ジャパン
- 協賛 : Makeの精神を理解し、支援したいと考える
Maker ムーブメントと親和性のある企業

Maker Faireとは

Make:

- Maker Faireは、地上最大の(DIYの)展示発表会です。家族で楽しめる、発明と創造と役に立つ情報がいっぱいの展示会であり、Makerムーブメントのお祭りです。そこは人々が自分で作った物を見せ合う場所であり、自分が学んだことをシェアする場所でもあります。
- 出展するMakerは、技術愛好家からクラフト作家、農家、ガレージの機械いじり愛好家など多岐にわたり、年齢も経歴もまちまちです。Maker Faireの使命は、このコミュニティを、楽しませ、情報を提供し、結びつけ、より大きくすることにあります。
- 最初のMaker Faireは、2006年にカリフォルニアのサンマテオで開催され、2013年の8回目には900組のMakerと12万人以上もの来場者が参加しました。もう1つのフラッグシップイベントであるWorld Maker Faire New Yorkは、3年間で500組を超えるMakerと5万5千人以上もの来場者を迎えるまでに成長しています。その他の主要なMaker Faireが開催されているのは、ローマ、デトロイト、イギリス、パリ、中国(深セン)、台湾、そして東京です。また、各地のコミュニティが主催、運営するMini Maker Faireは、世界各地で開催されており、2013年にはMaker Faire/Mini Maker Faire合わせて世界100か所、約53万人が参加するイベントに成長しました。



ご協賛のメリット

Make:

- 物作りに興味、関心があり、エンジニアマインドを持つアーリーアダプターである「Maker」が出展者ならびに来場者の中心のイベントです。
- 出展者、来場者の多くを占める「物作り志向が強いエンジニア」に貴社及び貴社商品を認知させることが可能です。
- 個人の物づくりに関する幅広いジャンルのユニークな展示が多く、各種メディアから高い注目を集めています。
- 御社の「モノづくりをする人々を支援する」という姿勢を広く露出させ、ブランドイメージの向上につながります。

■過去のご協賛企業(一部・順不同)



ご協賛のメリット

Make:

■協賛事例 オートデスク様

アメリカ本社よりCEOをお招きしてのプレゼンテーションならびにブースでの展示。
十数台のiPodで作った3D Photoブースはメディアにも大きく取り上げられました。
自社プロダクトをイベント会場で来場者の方に体験いただき、その場でフィードバックを得られる貴重な機会になりました。



■協賛事例 KORG様

プロダクトの開発者をアメリカより招き、
プレゼンテーションを実施。
新製品を実際に触れるワークショップも実施し、
好評を博しました。



■スポンサー様メディア掲載実績

TV: ワールド・ビジネス・サテライト

Web: Engadget Japanese / PC WATCH / ASCII.jp / BARKS / MONOist 他多数

MFT2014 出展プラン一覧

Make:

NEW!

分類	PLATINUMSMITH SPONSOR	GOLDSMITH SPONSOR	SILVERSMITH SPONSOR	STARTUP SPONSOR	(ご参考) 企業出展
出展料金(税別)	お問い合わせください				10万円
ロゴ掲示 (WEB、配布プログラム、会場 パネル等)	大	中	小	小	無
展示スペース(※1)	5000mm×7000mm (もしくは机4本)	1800mm×3600mm (もしくは机2本)	机1本	机1本	机1本
プレゼンテーション(20分間)の実施	有	無 (オプションとなります)	無 (オプションとなります)	有	無 (オプションとなります)
ワークショップエリアの利用	オプション(時間制・別途お申し込みが必要です)				
スポンサータグの提供(※2)	8枚	4枚	4枚	4枚	4枚 (出展者タグとなります)
招待券の提供(※3)	10枚	8枚	4枚	4枚	無
出展者懇親会招待券の提供(※4)	4枚	2枚	2枚	無	無
ブースでの物品の販売	オプション(時間制・別途お申し込みが必要です)				

・協賛可否に関しましては、事前に弊社規定に基づき確認させていただきます。各協賛枠には限りがあり、各プランごとに先着順による受付となります。

・なお、お申込時点で出展内容等が未定の場合、イベント趣旨に対して不適當と思われる場合は、ご協賛を辞退する場合がございますのであらかじめご了承ください。

※1: 詳細は次ページをご確認ください。

※2: 入場・搬入・搬出ならびにスポンサーブース内での説明にはスポンサータグが必要となります。追加のスポンサータグが必要な場合は、別途販売の予定です。(前売り・当日販売価格 1枚3,000円・税別・予定)

※3: 一般来場者としてご入場いただける招待券です。1枚につき1日限り2名様にご入場いただけます。 ※4: 11/23(日)の夜に開催される出展者懇親会の無料入場券となります。追加参加の場合は別途実費を申し受けます。

■ 本年より以下の企業を対象として、社数限定でSTARTUP SPONSORを募集します。／業務内容やプロダクトがMaker Faireの趣旨に沿った日本企業であること／創業5年以内の企業であること(イベント開催時)／従業員数が10名以下であること／資本金3,000万円未満であること／年商1億円以下であること。本プランは先着順ではありません。事前に審査がありますので、ご了承ください。

MFT2014 出展プラン(展示スペース)



分類	PLATINUMSMITH SPONSOR	GOLDSMITH SPONSOR	SILVERSMITH SPONSOR	STARTUP SPONSOR
標準展示スペース	(A)5000mm × 7000mm (B)机4本	(A)1800mm × 3600mm (B)机2本	机1本	机1本
展示スペースの追加(※1)	無	机を2本まで追加できます。 1本あたり30,000円(税別)で承ります。	机を1本まで追加できます。 1本あたり30,000円(税別)で承ります。	
インターネット	オプションにてご用意いたします。有線ネットワークの口を展示ブースまで配線致します。弊社指定業者による施工となり、費用は協賛社様の負担となります。		無	
電源	1協賛社あたり100V/300W容量までの電気供給一次幹線工事は主催者が行います。供給幹線は小間内まで配線します。それ以外の電気工事は弊社指定業者による施工となり、費用は協賛社様の負担となります。 (一般の出展者よりも多大な電気使用量が見込まれる場合は、電気使用料をご負担いただく場合があります)			
隣接する出展者／協賛社との間仕切り等	(A)プランの場合、ロープパーテーション等、出展者同士の間仕切りは、主催者側でご用意致します。隣接企業が無い場合、もしくは(B)プランの場合は間仕切りはありません。弊社が標準で用意する以外の間仕切りが必要となる場合は、協賛社様のご負担で準備ください。 (必ず事前に弊社までご相談ください)		無	

※1: 出展ブースへの機の追加には上限があります。(主催者関係企画についてはこの限りではありません。また、会場等の都合によりご要望の机・スペースを用意致しかねる場合もございますのでご了承ください。)

ご協賛の特典



展示スペースのご提供



会期中は、協賛プランに応じたスペースや長机を使って展示をすることができます。自社サービス・商品のご紹介、お客様とのコミュニケーションなどにご活用ください。展示スペースでのワークショップ実施や物販も可能です。

ロゴ掲示(会場・ウェブ・プログラム)



makezine.jpのイベント特設ページ、会場内サイン、会場で配布されるプログラムに貴社ロゴを掲示いたします。

(掲示サイズは協賛プランに応じます)

オプションプラン

Make:

プレゼンテーションの実施



会期中1回、会場内のプレゼンテーションスペースで20分間の発表を行うことができます。

- プレゼンテーションの実施日時につきましては、オライリー・ジャパンにて決定させていただきます。
- 枠には限りがあり、先着順による受付となります。
- 会場定員:100名程度(予定)

ワークショップエリアの使用



会場内のワークショップエリアを2時間使用することができます。

- ワークショップエリアの利用日時につきましては、オライリー・ジャパンにて決定させていただきます。
- 付帯設備の利用については別途料金をご請求する場合がございます。
- 会場定員:10名~15名程度(予定)

懇親会スポンサー



11月23日(日)の夜に開催予定の出展者懇親会会場に、貴社ロゴを掲示、Makerたちの前でのご挨拶の機会をご提供します。

makezine.jp 記事掲載

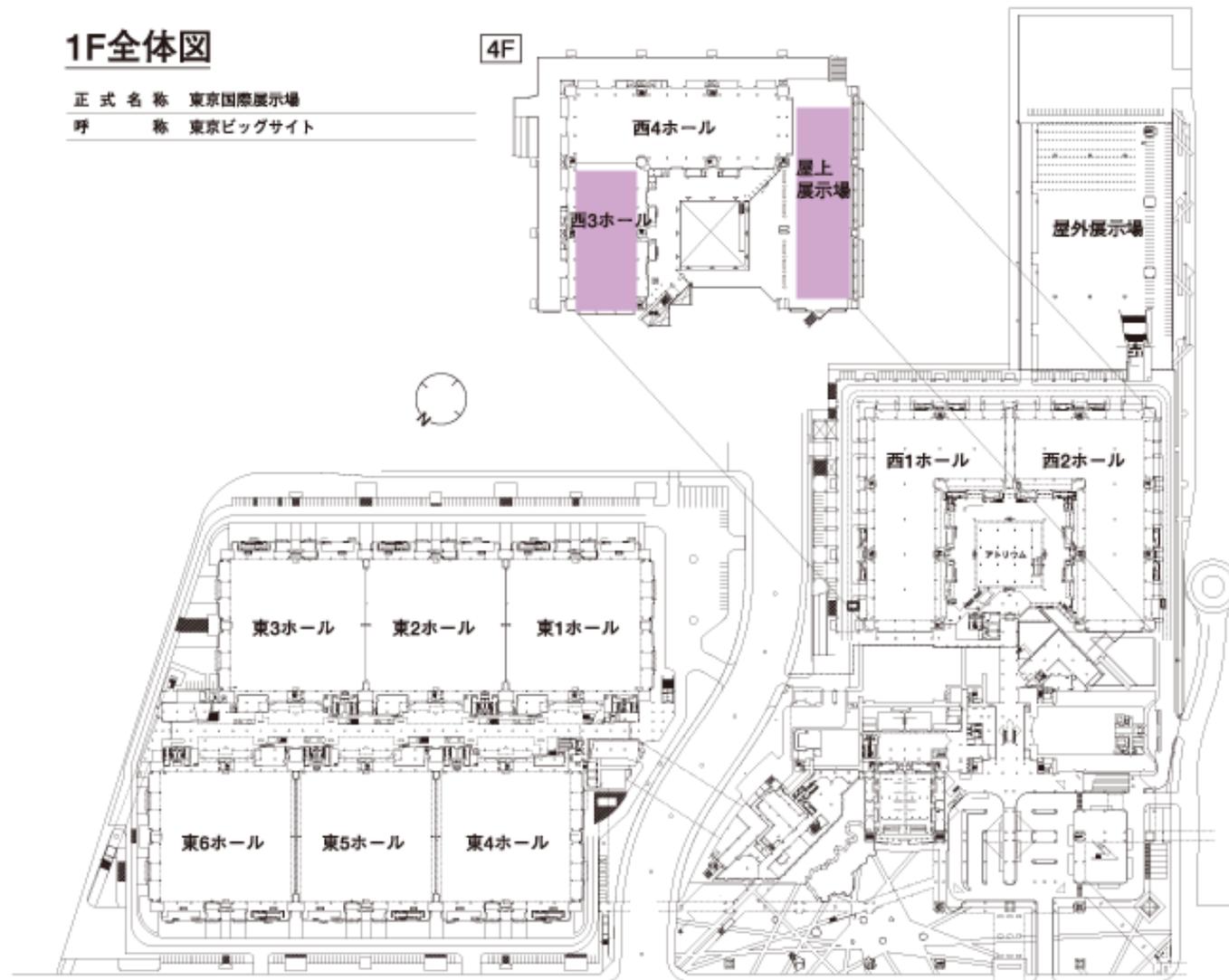


貴社展示内容・プレゼン内容のレポートをmakezine.jp上に掲載します。

このほか、WEBタイアップ企画等、御見積致します。
お気軽にお問い合わせください。

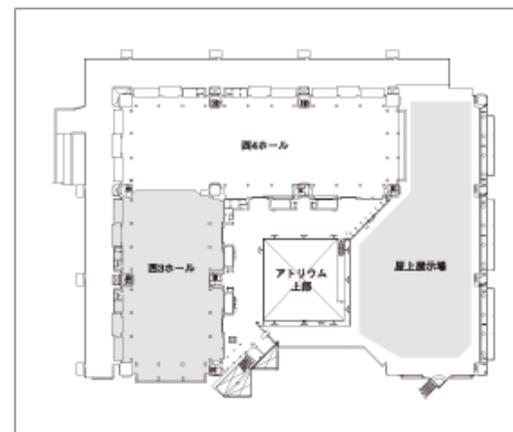
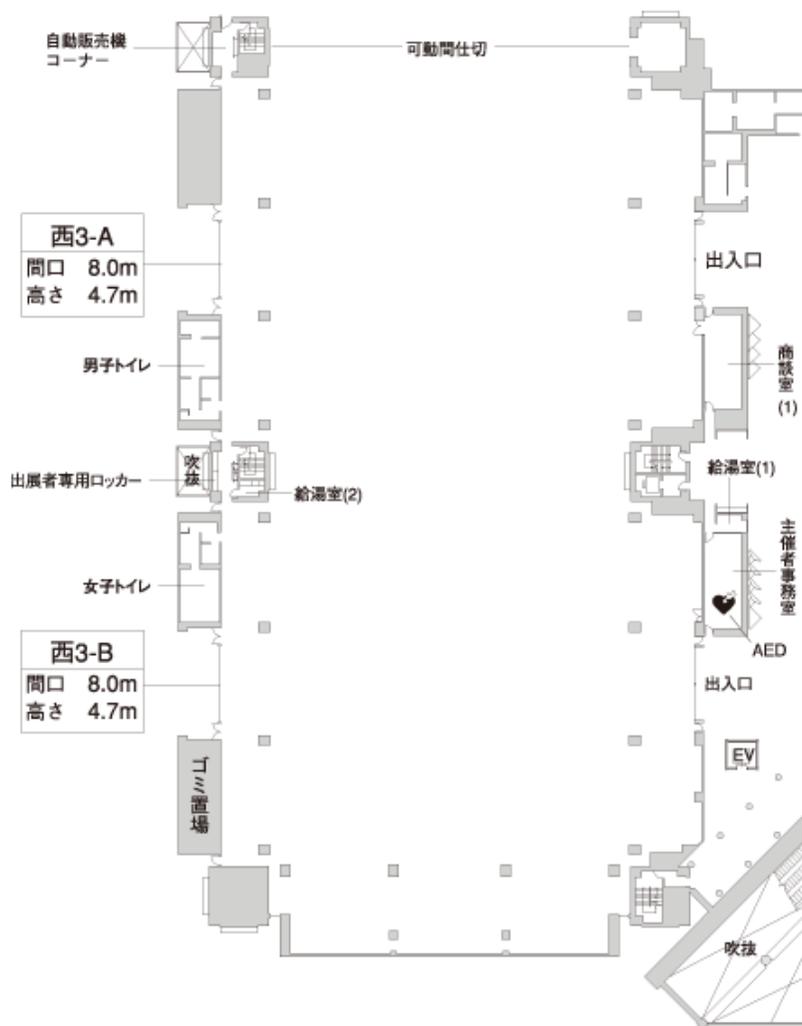
会場マップ(東京国際展示場)

Make:



会場マップ(西3ホール)

Make:



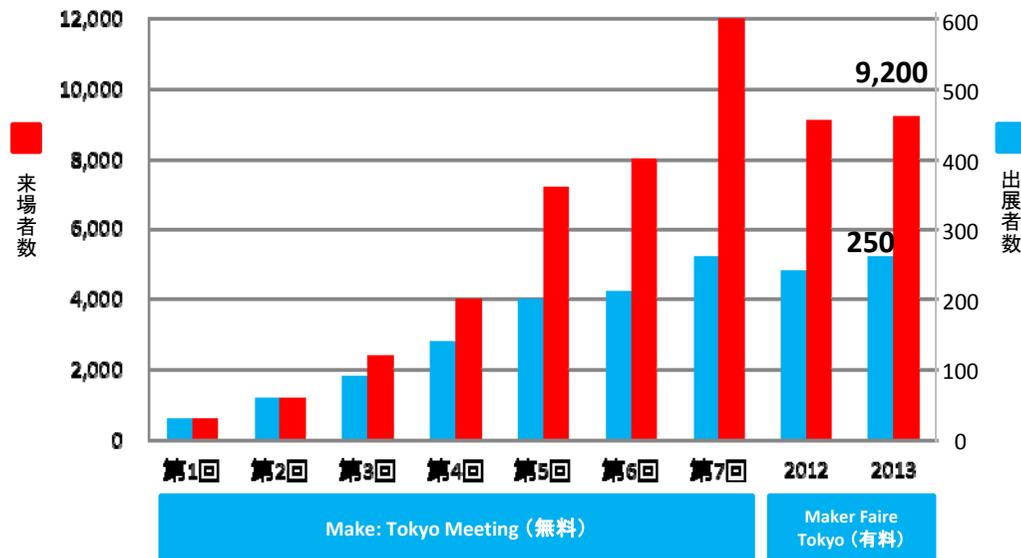
建築設備

- ◆ホール展示面積 4,680 m²
- ◆天井高 13~18 m
- ◆床仕上げ コンクリート
- ◆床耐荷重 2 t/m²

TARGET Maker Faire Tokyo 来場者層



■ Maker Faire Tokyo (Make: Tokyo Meeting) 来場者数・出展者数



日本では、2008年からMake:Tokyo Meetingという名称で7回の無料イベントを開催し、最大1万2,000名の方にご来場いただきました。

2012年からは、Maker Faire Tokyoという名称で、有料イベントとしてリニューアルを行いました。

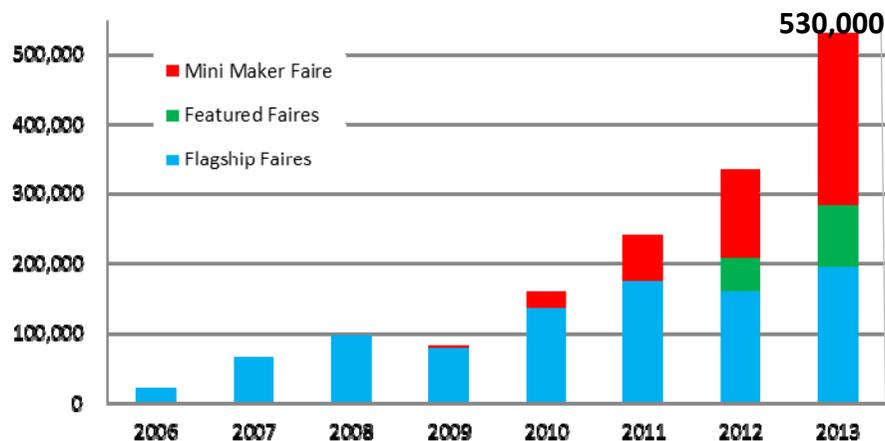
Maker Faire Tokyo 2013の来場者数は9,200名、出展者数は250組となっています。

2013年には、日本初となるMini Maker Faire である Yamaguchi Mini Maker Faire (主催: 山口市、公益財団法人山口市文化振興財団) も開催されました。

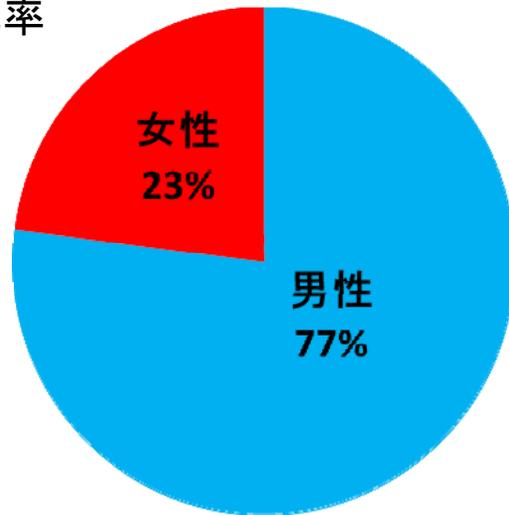
Maker ムーブメントは世界中に広がっています。

2006年に第1回目のMaker Faireがベイエリアで開催された際、来場者数は22,000人でした。その後8年でMini Maker Faireを含めると、世界100か所以上、53万人の来場者が訪れるイベントに成長しました。

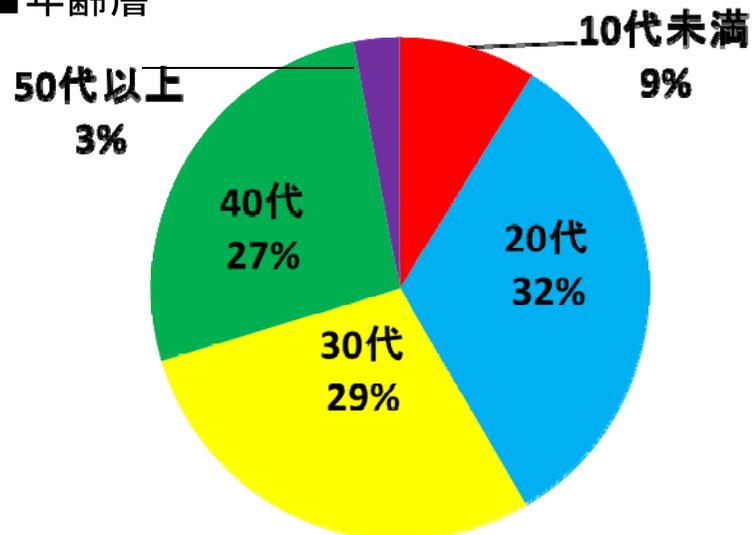
■ 全世界のMaker Faire / Mini Maker Faire来場者数推移



■ 男女比率



■ 年齢層



■ 仕事や学業で関わっていること(n=133,複数回答可)

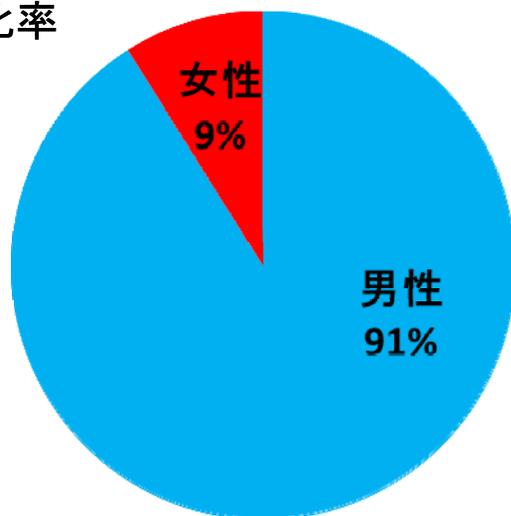
項目	%
プログラミング	35%
システム開発	22%
ハードウェア製作(電気、電子系)	22%
ハードウェア製作(機械系)	16%
教育	12%
Web デザイン	8%
その他デザイン	5%
メディア	4%
広告	4%
科学実験	4%
美術、音楽	3%
手芸	3%
料理	2%
その他	12%

※Maker Faire Tokyo 2013(2013年11月実施)来場者アンケートより
サンプル数 133

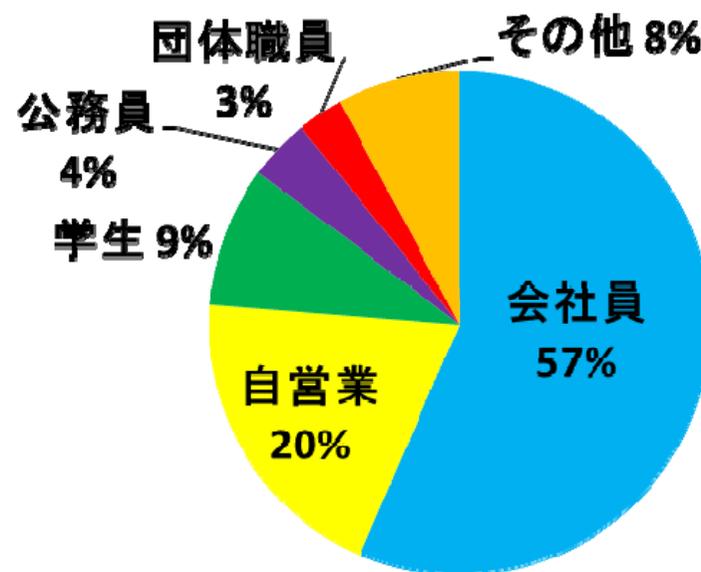
TARGET Maker Faire Tokyo 出展者層



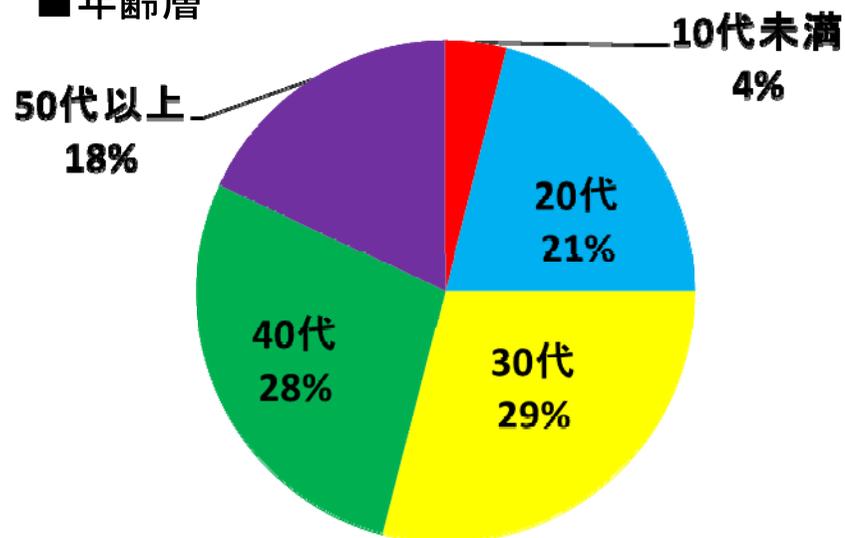
■ 男女比率



■ 職業



■ 年齢層



※Maker Faire Tokyo 2013(2013年11月実施)出展者アンケートより
サンプル数 115

TARGET Maker Faire Tokyo 出展者層



■仕事や学業で関わっていること(n=115,複数回答可)

項目	%
プログラミング	54%
ハードウェア製作(電気・電子系)	42%
システム開発	34%
ハードウェア製作(機械系)	28%
教育	20%
その他デザイン(プロダクト・グラフィック)	15%
WEBデザイン	13%
美術・音楽	10%
科学実験	8%
広告	3%
メディア	3%
手芸	3%
その他	17%

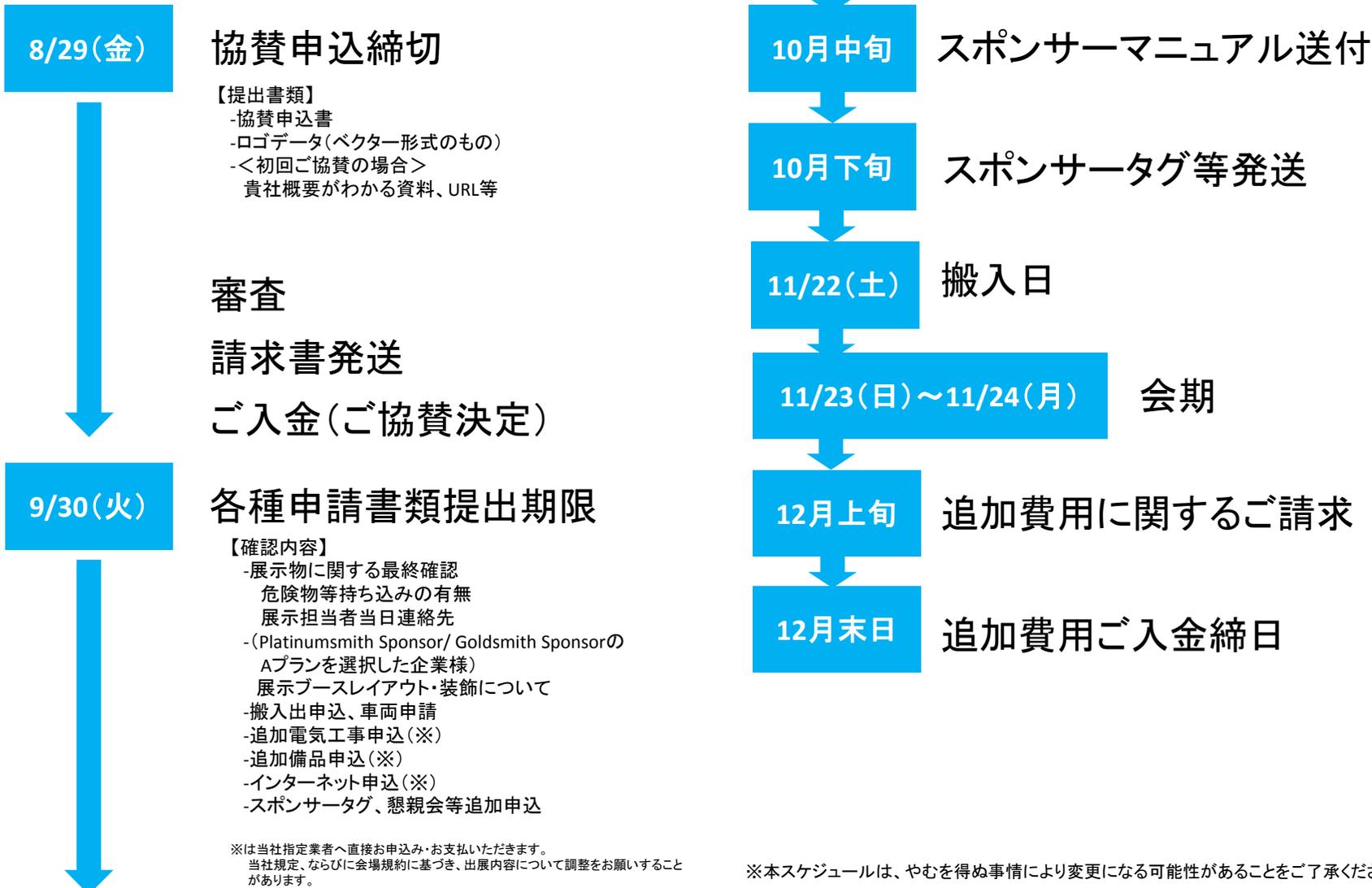
■今後作ったり、いじったりしたいもの(n=115,複数回答可)

1. 電子工作 63%
2. 3Dプリンタ 51%
3. Arduino 41%
4. RaspberryPi 40%
5. レーザーカッター 38%

6	ロボット	34%
7	金属加工	29%
8	キット制作	27%
9	電子楽器	26%
10	CNC	25%
11	Kinect	23%
12	模型飛行機・UAV	22%
12	電子手芸・服飾	22%
14	Makerスペース・ハッカースペース	21%
15	ハードウェア企業としての起業	19%

※Maker Faire Tokyo 2013(2013年11月実施)出展者アンケートより
サンプル数 115

スポンサー様関連スケジュール



※本スケジュールは、やむを得ぬ事情により変更になる可能性があることをご了承ください。

お申込み方法・お問い合わせ先

Make:

(1)お申込み書の送付

別ファイル「Maker Faire Tokyo 2014 協賛申込書」にご記入の上、sponsors@makejapan.org まで印刷用のロゴデータとともに、メール添付で送付ください。

初回出展の場合は、企業概要・製品概要がわかる資料も送付ください。**(1次締切:8月29日(金))**

(2)協賛金のお振込

お申込み内容について、1次審査を行い、審査を通過した企業様に請求書を送付いたします。

お支払をもって協賛お申込みを完了いたします。

一旦お振込いただきました協賛費用は、理由の如何に関わらずご返金することはできませんのでご了承ください。

(3)各種申請フォーム入力、申請書類提出期限(9月30日(火))

事務局より搬入方法等必要項目をお伺いしますのでご確認の上ご連絡下さい。

追加スポンサータグのご注文などにつきましても、このタイミングで承ります。

(4)スポンサーマニュアルの送付(10月中旬)

搬入等に関する情報につきましては、9月下旬を目安に、「スポンサーマニュアル」を送付いたします。

(5)スポンサータグ、招待券等の発送(10月下旬)

イベントフライヤー、ポスター、スポンサータグ、招待券、出展者懇親会招待券等を、事前にご担当者様宛に送付いたします。

(6)イベント開催

(7)追加出展費用ご請求→お振込

追加の出展費用に関しましては、12月末日までにお振込ください。

お申込・お問い合わせ先
株式会社オライリー・ジャパン「Make」 担当:鹿野
E-mail sponsors@makejapan.org

ご参考資料

ABOUT Makerムーブメントを伝えるメディア **Make:**

makezine.jp

WEBサイト／日々更新
15万PV／月

「Make」日本語版

(雑誌体裁の書籍)
年1~2回刊行 Vol.12まで発売中
(2014年7月現在)

BOOKS／年6~7点刊行



Maker Faire Tokyo

個人のものづくりを応援する
Makerムーブメントのお祭り

Mini Maker Faire

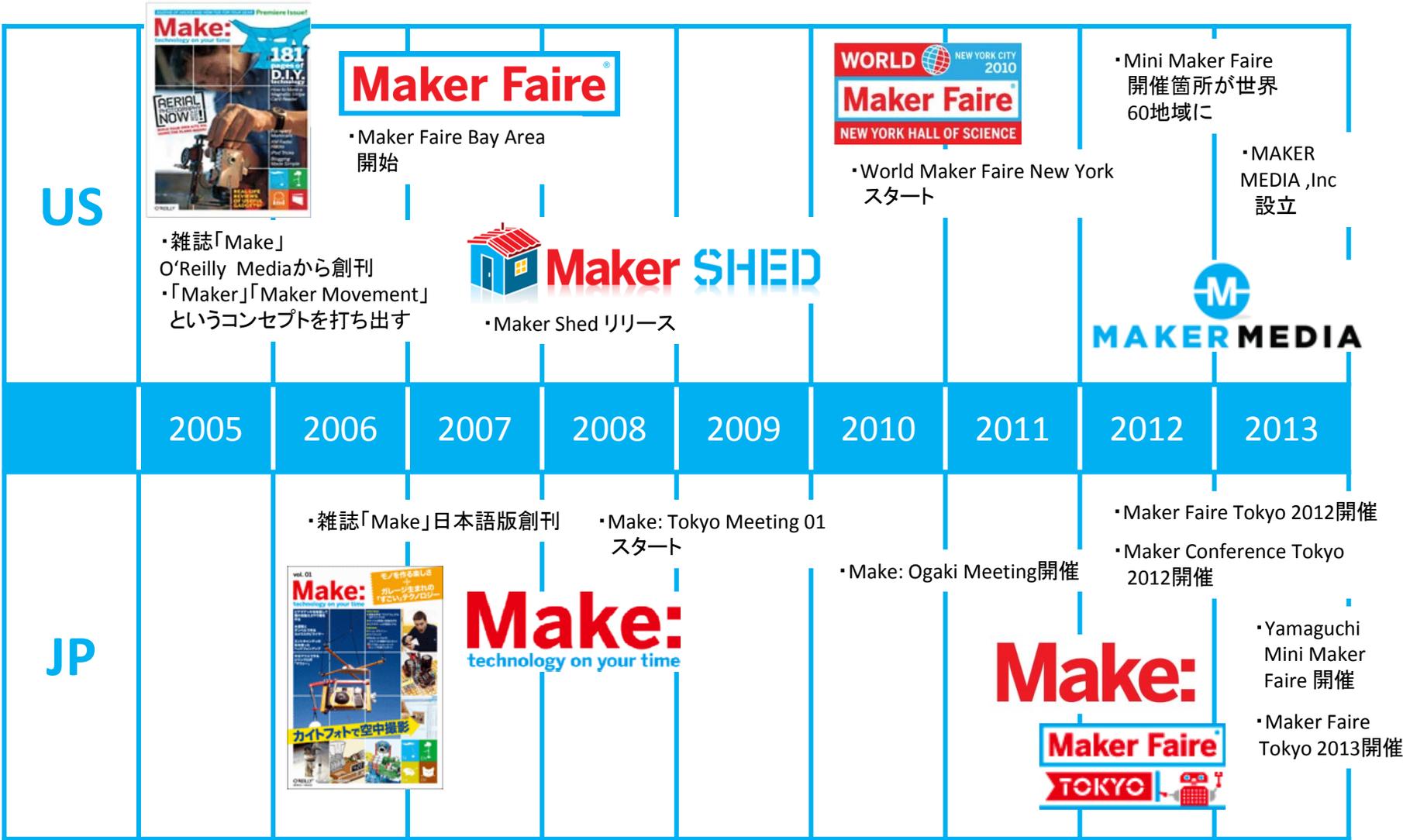
各種スピノフイベント

BOOKS
WEB
EVENT



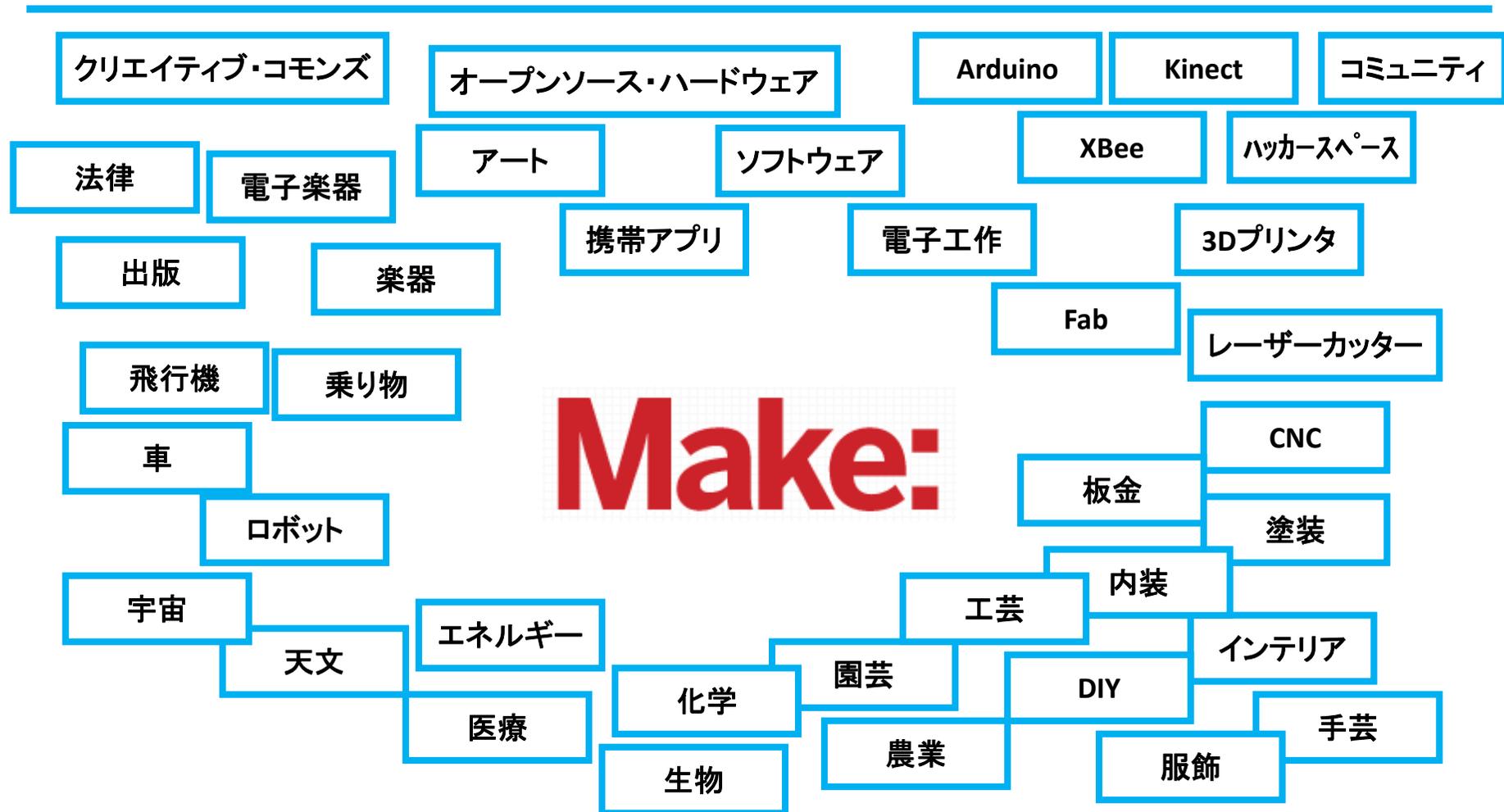
- オライリー・ジャパンでは、雑誌「Make」日本語版、ウェブサイト「Makezine.jp」、イベント「Maker Faire」の運営を通じ、Makerムーブメントの「今」を伝えています

Make: TimeLine US/ Japan



Make がカバーする領域 (一部)

Make:



「作る」をキーワードに幅広いジャンルをカバーしています

Make キーワード解説

Make:

パーソナルファブリケーション



個人が自分の必要としているもの、作りたいものをデザインし、3Dプリンタやレーザーカッターなどの工作機械を活用して「製造」すること。必要な機材を使用できる「FabLab」も2011年ごろから日本に登場しはじめた。

Arduino



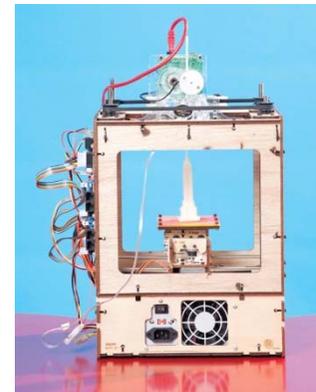
イタリア生まれのオープンソースのツールキット。「アルドゥイーノ」と読む。比較的安価なハードウェア（マイコンボード）と使いやすい開発環境で、アクセサリ、電子楽器からロボットまで様々な物を作ることができる。

オープンソース・ハードウェア



回路図、動作に必要なソフトウェア、部品表などを再利用可能なライセンスで公開しているハードウェア。Arduinoがその代表的な例。他にポータブルゲーム機、3Dプリンタなどがある。

3Dプリンタ



通常の紙に平面的に印刷するプリンタに対して、立体（3次元のオブジェクト）を造形する立体プリンタを指す。コンピュータ上で作った3Dデータを元に、樹脂を高温で溶かし積層させて立体形状を作成する。

Maker Faire Tokyo の出展例

Make:

VagabondWorks

24 脚の電動脚式スケートボード。Android 端末からBluetooth リモコンでスロットル制御、操舵はスケボーと同じように体重移動で行う。



クラタス

『水道橋重工』が2年半の期間を費やして作り上げた巨大ロボット。全高4m、重量4t、油圧駆動の関節が約30ヶ所、人が搭乗可能、自走可能で物も掴める。



ヒゲキタ

直径5.6m のドームと恒星数5800 個のピンホール式プラネタリウム投映機。赤青メガネを使った3D 映像投映機で、星空と3D 映像を鑑賞します。



出展者によるワークショップも開催

上記は展示のごく一部です。その他、多数の作品が集まります！